

-(으)매

~するので（古文の理由）

理由を示す最も古い形です。現代語ではほとんど使われず、格式ある文章に残っています。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-매	가다 → 가매
パッチムあり	-으매	좋다 → 좋으매
ㄷ 語幹	-매	살다 → 살매
名詞	(이)매	학생이매
文体	古文・格式	宣言文・碑文
近い形	-(으)므로	現代の書き言葉

■ -(으)므로 どう違うか

理由を示します。뜻이 깊으매 이를 기록으로 남긴다（意義が深いのでこれを記録として残す）。

最も古い理由の形です。때문에 → -(으)므로 → -(으)매 の順に古く格式が上がります。碑文、宣言文、古典で見かける文体です。

-(으)므로 が現代の対応形です。論文や公文書では므로を使い、매はほぼ使いません。

読解のために覚える形で、書く必要はまずありません。

■ 例文

- 1

뜻이 있으매 길이 열리는 법이다.
志があるがゆえに、道は開けるものです。
- 2

밤이 깊으매 등불을 밝혔다.
夜が更けたので、灯りをともしました。
- 3

약속을 하였으매 지키는 것이 도리다.
約束をしたのだから、守るのが道理です。
- 4

근본이 바르매 흔들림이 없다.
根本が正しいがゆえに、揺らぎがありません。
- 5

손수 만들매 그 값을 아는 것이다.
手ずから作るがゆえに、その価値が分かるのです。
- 6

때가 이르매 모두 자리에서 일어섰다.
時が至ったので、皆が席から立ち上がりました。

■ 紛らわしいもの

-(으)므로
現代の書き言葉の理由です。매 は古文です。
좋으므로（現代） / 좋으매（古文）

-(으)니
理由を示す一般的な形です。매 より広く使えます。
좋으니（一般）

-(으)ㄴ즉
同じく古文の接続です。매 は理由、ㄴ즉 は発見も含みます。
본즉（発見） / 좋으매（理由）

■ まちがえやすい点

- ✕ 학생매

○ 학생이매

名詞には (이)매 をつけます。
- ✕ 친구야, 좋으매 같게.

○ 친구야, 좋으니까 같게.

日常会話では使いません。
- ✕ 좋으매요.

○ 좋으매 간다.

文をつなぐ形なので後ろに文が必要です。